

田水郷通信

◆ Topics

- 令和5年度農業土木技術職員研修「大崎地域世界農業遺産・荒川堰用水路現地研修」を実施しました
- 次代に繋ぐ「田・水・郷」パネル展を開催しました
- 田水郷コラム「天然のフリーズドライで旨味凝縮！ 「ひっぼのへそ大根」」



令和5年度農業土木技術職員研修「大崎地域世界農業遺産・荒川堰用水路現地研修」を実施しました

令和5年10月13日（金）に、大崎地域世界農業遺産の一つのかんがい施設「荒川堰用水路」で、江戸時代から始まった農業用水の確保に関する歴史を学ぶとともに、現在、王城寺原補償工事事務所で進められている荒川堰用水路の改修について現地研修を実施しました。

前半は大崎市三本木保健福祉センターで屋内研修、後半は代表的な施設の現地見学を行いました。



▲ 屋内研修の状況

大崎地域世界農業遺産の概要

大崎市世界農業遺産未来戦略室の職員より、2017年に世界農業遺産（GIAHS）に認定された「大崎耕土」に関する講義が行われました。大崎耕土の特徴として、巧みな水管理システム、営農と暮らしを支えてきた伝統的な社会組織「契約講」、強風や豪雪などから家屋を守る屋敷林「居久根」の知恵があること、それぞれにある「水」、「人」、「知恵」のつながりを推進施策として継承しつつ、「守るために活かす」取組を未来につなげることが大切となります。



▲ 世界農業遺産「大崎耕土」

荒川堰用水路の歴史を辿る

NPO法人あぐりねっと21の会員より、荒川堰用水路の歴史に関する講義が行われました。荒川堰用水路は1630年（寛永7年）から造成が開始され、1655年（明暦元年）に現在の形になりました。用水路上流部は比較的直線ですが、中下流部は等高線に沿って曲がりくねっており、ところどころに潜（くぐり）と呼ばれる隧道があるのが大きな特徴となっています。



▲ 潜（くぐり）の現況

荒川堰用水路改修工事の概要について

王城寺原補償工事事務所の担当職員より、同事務所で行っている荒川堰用水路の改修工事に関する説明がありました。現在進めている改修工事では、既設のブロック積み水路の側壁に「FRPM板」と呼ばれる強化プラスチック複合パネルを貼り付け、用水路の機能回復を図っています。また、現場条件等による施工性から判断し、国道4号を境に、上流部は水路の入替工事、下流部は上述のパネル工事を行っております。



▲ 改修工事後の荒川堰用水路

現地研修

現地研修では、大崎市三本木にある荒川水神碑、隧道の入口、色麻町にある分水工などの施設を見学しました。



▲ 荒川堰用水路の現地研修の様子

次代に繋ぐ「田・水・郷」パネル展を開催しました

県図書館エントランスにおいて令和5年11月20日から12月1日までの間、また県庁2階回廊において令和5年12月11日から12月22日までの間、農業農村整備事業の取組等を紹介する「田水郷パネル展」を開催しました。

「第3期みやぎ農業農村整備基本計画」に基づき展開している各施策等について、パネルにより事例を交えながら紹介したほか、図書館においては田んぼダムの模型展示や、関連図書コーナー「田水郷の風景」を設置していただき、農業農村整備に関する情報を広く発信しました。



宮城県図書館エントランス 展示状況



図書館2F関連図書コーナー



図書館エントランス
田んぼダムの模型 展示状況



県庁2F回廊 展示状況

展示パネルの内容は、農村振興課ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。

[田水郷パネルページ](#)
(農村振興課ホームページ)



田水郷パネル展
～次代に向けて田・水・郷をつなぐ
みやぎの農業・農村～

産直な生産者(田)生産に欠かせない農業用水(水)美しい自然や伝統文化(郷)は、みやぎの農業農村の宝です。本展示では、これら田・水・郷をより一層活かし、次代に繋ぎつづける展開している第3期みやぎ農業農村整備基本計画の各施策等について、事例を交えながら紹介します。

主 催：宮城県農政庁農村振興課
TEL: 022-211-2863



みやぎ食と農林業振興基本計画に基づく農業農村整備部門の実施計画



天然のフリーズドライで旨味凝縮！ 「ひっぼのへそ大根」



寒さが厳しい東北では、各地で古くから野菜を風にさらして保存食を作る習慣があります。今回は、冬から夏まで保存することができる“究極の凍み大根”を紹介します。

「ひっぼのへそ大根」は、宮城県丸森町の筆甫（ひっぼ）という地区で伝統的に作られている郷土食材で、輪切りにした大根を茹で、串を通してから1か月ほど寒風にさらすことで作られます。標高500mの山々に囲まれる筆甫地区の澄んだ空気で乾燥させ、夜に「凍る」、昼に「溶ける」を日々繰り返すことで、天然のフリーズドライ加工となり、他の産地では生み出せない歯ごたえと旨味が凝縮されます。

「へそ大根」という、かわいらしい名前の由来については、串に刺した後の穴がまるでおへそに見えることからこのように呼ばれるようになったそうです。

これからさらに寒くなってくる時期ですが、煮物やスープなどで旨味たっぷりのへそ大根をぜひ具材のお供に入れてみてはいかがでしょうか？



大根を干している様子



へそ大根の煮しめ

～宮城県農業農村整備関係部署一覧～

県庁農政部 農山漁村なりわい課 農山漁村調整班、交流推進班 中山間振興班、6次産業化支援班 農村振興課 指導班、企画調整班、地域計画班、 技術管理班、広域水利調整班、 農村整備課 事業経理班、換地・用地班、ほ場整備班 水利施設保全班 農村防災対策室 防災対策班、ため池対策班	022-211-2657 022-211-2861 022-211-2871 022-211-2875	県出先機関 大河原地方振興事務所 農業農村整備部 仙台地方振興事務所 農業農村整備部 北部地方振興事務所 農業農村整備部 北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部 東部地方振興事務所 農業農村整備部 東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部 気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部 王城寺原補償工事事務所	0224-53-3111 022-275-9111 0229-91-0701 0228-22-2111 0225-95-1411 0220-22-6111 0226-24-2121 022-345-5175
--	--	---	--

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/